

# 令和5年度 SDGsの実現に向けた教育推進事業

市町名 上尾市

学校名 上尾市立今泉小学校

## 1 育成する能力

自ら考え、主体的に行動を起こす児童の育成

## 2 研究概要

### (1) 取り組むSDGsの目標

1年生 ゴール1 5  
2年生 ゴール8 ゴール1 2 ゴール1 5  
3年生 ゴール4 ゴール1 1 ゴール1 7  
4年生 ゴール3 ゴール1 0 ゴール1 7  
5年生 ゴール2 ゴール1 2 ゴール1 7  
6年生 ゴール1 1 ゴール1 7

### 【SDGs 17の目標】



### (2) 研究主題

持続可能な未来をつくるSDGsの実現に向けて教育実践  
～2030年への挑戦 自ら考え、主体的に行動を起こす今っ子の育成～

### (3) 研究仮説

生活科・総合的な学習の時間を核として、児童が探究的に学習に取り組める教材・題材の設定、単元構成とその見直し、思考ツール等の活用を行った対話的な活動を取り入れ、地域や県内の教育人材とともに課題解決を年間通して行えば、自ら考え、主体的に行動を起こす児童の育成を行えるだろう。

## 3 企業・団体との連携

### (1) 連携・協働する企業・団体

2年生 地域の商店（ローソン、シャルム（ケーキ屋）、スターバックスなど13の企業及び教育機関）  
3年生 新座市立東野小学校  
4年生 上尾市社会福祉協議会  
5年生 味の素冷凍食品株式会社 セブンイレブン、アリオ上尾、スターバックス  
6年生 あげお・いなエフエム、サイボウ（株）、井上スパイス工業、上尾市上下水道局、上尾市消防本部、陸上自衛隊、株式会社トーモク 日本水エコンサルタント（株）

**(2) 連携・協働する主な内容**

2 学生 地域の商店
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町たんけんので地域の商店をめぐり、SDGsに関連する取組をインタビューし、新聞にまとめたり、フードロスに関する取組を紹介するポスターを商店に掲示してもらったりしている。</li> <li>・地域にSDGsに取り組む商店があることを知り、SDGsの取組が身の回りにたくさんあることを知り、自分にできることを考える。</li> </ul>
3 年生 新座市立東野小学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾市の魅力を考え、他市の学校に魅力を伝えることで、地域の違いを理解するとともに上尾市の魅力を再確認し、上尾市に住む喜びを理解できるようになる。</li> </ul>
4 年生 上尾市社会福祉協議会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツをとおして、障がいのある方についての理解を深め、障がいのある方とともに過ごすことについて自分なりの考えをもつことができるようになるために、上尾市社会福祉協議会を通じて、福祉団体と連携し、パラスポーツを取り組んだり、障がいのある方の生活について体験したりできるようにする。</li> </ul>
5 年生 味の素冷凍食品株式会社 セブンイレブン アリオ上尾 スターバックス
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に取り組んでいるフードロスの取組について講義を受けることで、自分たちにできることを考える。考えた取組について、地域の企業や団体に提案し、協力を依頼する。</li> </ul>
6 年生 あげお・いなエフエム、サイボウ(株)、上尾市上下水道局、上尾市消防本部、陸上自衛隊、株式会社トーモク 日本水工コンサルタント(株)など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾市の防災力を高めるために何ができるかを考え、自分たちが主体となって取組を進めていくために、様々な企業や団体に協力を依頼する。企業や団体と協力し、様々な取組を展開している。</li> </ul>

**4 事業実施概要**

月 日	事業内容	場 所	対 象
2 学期	町たんけん「生活科」 ①13のお店、保育園を見学し、仕事やSDGsに関する取組をインタビューする。 ②インタビューでわかったことを、新聞にする。 ③13のお店、保育園にお手紙を書く。	それぞれの場所	2 年生
2 学期 3 学期	交流会「総合的な学習の時間」 ①新座市立東野小学校の3年生から新座市の魅力を聞く。 ②新座市立東野小学校の3年生へ上尾市の魅力を伝える。	教室	3 年生
2 学期	体験会、講義 ①上尾市福祉協議会から講師を招き、車いすの生活について講義を受ける。 ②車いすバスケットボールの体験を行う。 ③点訳EYE(点字に関するNPO団体)を講師として招き、目が不自由であることの生活の実態を知る。 ④アイマスク・白杖体験を行う。	体育館 教室	4 年生

<p>2学期～ 3学期</p>	<p>講義 ①味の素冷凍食品株式会社、セブンイレブンから企業の取り組むフードロスの取組について、講義を受け、フードロスについて考える。</p> <p>交渉 ①各クラスで考えたフードロスの取組について、協力してもらえる企業・団体を探し、交渉する。</p> <p>協働・連携 ①成果物を掲示し、フードロスの取組についてPRする。</p>	<p>体育館、教室</p>	<p>5年生</p> <p>・スターバックス ・アリオ上尾 ・セブンイレブン ・味の素冷凍食品</p>
<p>年間</p>	<p>講義 ①自衛隊、上尾市消防本部、上尾市防災士協議会から災害の知識、避難所運営、応急手当の仕方、マンホールトイレの設置方法について講義を受ける。</p> <p>②井上スパイス工業、株式会社トーモク、日本水エコンサルタントから非常食、段ボールベット、防災マップについて講義を受ける。</p> <p>交渉 ①グループごとに考えた取組について、企業・団体へ協力の依頼を行う。</p> <p>②興味をもった企業・団体にプレゼンテーションを行い、協働・連携の判断を仰ぐ。</p> <p>協働・連携 ①ラジオ放送を行う。</p> <p>②段ボールベットアイデアを考え、企業に提案する。</p> <p>③防災マップの作成の協力を得ながら、実用性が認められれば近隣の施設に配付する。</p> <p>④上尾市消防本部の協力のもと、応急手当普及員（小学生版）を受講する。</p> <p>⑤学校保健委員会に児童が参加し、応急手当の方法について、講師役を担う。</p> <p>表彰 ①ぼうさい甲子園 優秀賞 ②上尾市アイデアグランプリ 優秀賞（防災バッグ）</p>	<p>教室、体育館、小ホールなど</p>	<p>6年生</p>

	<p>報道</p> <p>①毎日新聞 12月1日 ぼうさい甲子園表彰校としての取組の紹介</p> <p>②毎日新聞 1月19日 ぼうさい甲子園表彰式の様子</p> <p>③埼玉新聞（掲載時期調整中）防災教育の取組の様子</p>		
--	---	--	--

## 5 成果と課題

### ○ 児童の変容

第6学年の全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」という質問に対する結果が79.8%と全国平均とほぼ同様だったのに対し、本研究に関わる取組を行った後の校内調査では、90%以上の児童が、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。」と回答した。また、90%以上の児童が、「他教科で学んだことを総合的な学習の時間に生かしている。」と回答し、知識や技能を活用し、様々な視点から学習に取り組もうとする主体的な姿が見られるようになった。

2年生、5年生や給食委員会のフードロスに関する活動や学習の成果物の発表や学校内の呼びかけなどにより、班として1か月に残る給食の量が、4.1kg減少するなどSDGsに関連した学習活動による児童の生活面の意識の変化が見られた。

学校全体では、「授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいるか。」という質問に対し、84.7%の児童が肯定的な回答をしている。

以上の結果から、SDGsとの関連を明確にした学習や取組を行ったり、企業・団体などの外部人材を児童の思いや願いに沿って、出会わせたり協働的に活動を行ったりすることによって身の回りにある問題に主体的に関わり、課題解決に向けて自分から行動しようとする児童が増えてきていることがわかる。

### ○ 学校全体の変容

SDGsに関する教育的活動はどのような実践ができるかを学校全体で考え、これまでの学習計画にSDGsに関わる視点を取り入れた活動を行うことができた。その成果として、SDGsが児童や職員にとって身近な存在になりつつある。また、様々な学年が成果物の発表の仕方に相手意識が生まれたことで、異学年における協力関係や他市の学校との協働学習、企業・団体を取り込んだ新しい学習の形を構築することができた。今年度の学習の成果や反省を生かして、生活科・総合的な学習の時間を核とした年間単元配列表を作成し、教科横断的に学習に取り組み、「習得」「活用」「探究学習」の学びの過程を児童も教員も意識できるようにした。年間を通して、学校として生活科・総合的な学習の時間の授業を中心に30以上の企業や団体と関連した授業や学習活動を行うことができた。

### ○ 令和6年度に向けての課題

生活科・総合的な学習の時間を中心とした教育課程を編成し、各教科との関連やSDGsとの関連、企業・団体のパートナーシップを認識できる年間学習計画を作成する。その上で、持続可能な教育活動に昇華するために、指導者を招き、研究の方向性や実際の取組についてご指導をいただき、市内、県内の小学校が実践できる例示を示したい。